

日本語訳されているオーストラリア演劇リスト(2014年9月現在)

*本リストは2014年9月現在、オーストラリア大使館で把握されているものが掲載されています。

*本リスト掲載に掲載されているオーストラリア演劇の日本語訳にご興味のある方は、オーストラリア大使館 (cultural.tokyo@dfat.gov.au) までお問い合わせ下さい。可能な限り翻訳者に連絡を取るよう致します。

*本リストはAubrey Mellor氏および須藤鈴氏の多大なるご協力により作成されました。両氏に深く感謝申し上げます。

タイトル	劇作家	翻訳者	劇団名	公演期間	劇場名	公演形態	演出家	あらすじ	キャストサイズ	出版	リンク
11 Who?	ジャック・ヒバード	佐和田敬司				未上演			男3人	〈オーストラリア演劇叢書2〉 オセアニア出版社	
12 アウェイ	マイケル・ガウ	佐和田敬司				未上演		ユーモアがありながら真実を突いた作品。学校で上演される『夏の夜の夢』から始まり、激しい嵐によって休暇中の3家族が引き寄せられる。	男4人・女4人	〈オーストラリア演劇叢書8〉 オセアニア出版社	
13 アップ・ザ・ラダー	ロジャー・ベネット	佐和田敬司	楽天団+ オーストラリア政府 主催Ancient Future オーストラリア芸術祭	2003年11月12日～16日	レパトリーシアター-KAZE	本公演	和田喜夫	時は1940年代、戦後もないその頃のアボリジニの青年にとってポクシングは、金と名声を獲得し社会的に成功する可能性を秘めた唯一のチャンス。差別的な環境に耐えかねたジョニーは親友シドを従えて、華やかなお祭りの見せ物としてテントで行われていたポクシングの試合に飛び込む。そして数年後、彼はついにタイトルマッチに勝利し、チャンピオンの座にまで登り詰める。エネルギッシュでユーモア溢れる舞台を育んだ、アボリジニ青年の成長と成功の物語。	9人	〈オーストラリア演劇叢書7〉 オセアニア出版社	http://ancientfuture.australia.or.jp/jpn/events/event_pages/event_15.php
14 ウィンドミル・ベイビー	デービッド・ミルロイ	須藤 鈴	演劇企画集団 楽天団	2008年12月17日～21日 2010年5月8日～10日 6月3日 6月5日～6日 2012年7月4日～6日 7月12日	中野・スタジオあくどれ 産・高円寺2 (いわき)いわき芸術文化交流館アリオス (仙台)白鳥ホール 北とびあ・ペガサスホール (福島)福島テルサ・FTホール	本公演	和田喜夫	ある牧場にやってくるアボリジニの老女・メイメイは、自分がそこで洗濯女として働いていた過去を振り返る。結婚、妊娠、流産... 厳しい牧場主と優しい夫人。やがて夫人に子が宿ることで悲劇が起こり、メイメイも巻き込まれていく... 12人の登場人物が女性一人によって演じられる可笑しくて悲しいおとぎ話。	女1人 (+ミュージシャン)		http://australia.or.jp/culture_old/ja/events/view/283/
15 ウーマンズ・アイズ	ルイス・ナウラ	須藤 鈴	演劇企画集団 楽天団	2010年1月15日～20日	中野・スタジオあくどれ	本公演	和田喜夫	労働者階級出身のマルコムは、不動産開発業を成功させた男。今日は妻ベニーとの結婚40周年記念日であり、ブルーマウンテンに建つ古いホテルの一室に二人の息子達もやってくる。ベニーが仕掛けた企みがもたくなって、家族の問題、それぞれが抱える秘密が明らかになってくる...	男4人・女1人		http://australia.or.jp/culture_old/ja/events/view/260/
16 エクスタシー	マージェリー・フォード	須藤 鈴	演劇企画集団 楽天団	2006年8月29日～9月3日	中野・スタジオあくどれ	リーディング	和田喜夫	音楽・ダンス・ドラッグに魅了されているベンは、妹のステイシーがエクスタシーの飲み過ぎで亡くなって以来、自分を責め続けている。ステイシーが死んだ夜に本当は何が起こったのか、物語の進行とともに明かされていく。	男2人・女4人		
17 オナー	ジョアンナ・マレースミス	佐和田敬司	演劇集団円 文学座	2002年2月15日～27日 2002年2月11日～23日	ステージ円 文学座アトリエ	本公演	村田大 西川信廣	優れた詩人でもあり小説家でもあったオナーは、結婚して32年、夫のガスとともに娘ソフィーを育てながら穏やかな家庭を築いてきた。夫のガスはジャーナリズムを代表する大物文芸評論家。その夫のもとに作家志望の若く美しい編集者ローディアがインタビューに訪れる.....	男1人・女3人	〈オーストラリア演劇叢書4〉 オセアニア出版社	
18 ガリガリ夫人の完全犯罪	ロジャー・バルバース	私市元宏				未上演		若い女性はデパートに現れ、化粧品カウンターをハイジャックする。	1人	「新劇」(白水社) 1970年8月号	
19 クッキング・テーブル	ウェズリー・イノック	佐和田敬司 &須藤 鈴	演劇企画集団 楽天団	2006年11月8日～14日	レパトリーシアター-KAZE	本公演 (世界初演)	ウェズリー・イノック	1870年代。クッキーというアボリジニの少女が、ある島の木の下で生まれた。切り倒された木を遡るクッキーは白人の世界に足を踏み入れ、大きな家の料理人になった。テーブルになった木は、家族の物語と共に子供に受け継がれていく。物語の時は現代。息子とその母親が、テーブルの所有権をめぐって争っている。	男1人・女2人 ・子1人		
110 クリッジ丸	ロジャー・バルバース	ロジャー・バルバース	シアターX	2003年7月10日～13日	シアターX (両国)	本公演	ロジャー・バルバース	メルボルンでばったり会う年配の男性と女性は、その昔恋人だったことに気づく。	2人	「せりふの時代」 (小学館) 2002年秋号	http://www.theaterx.jp/library/gallery.php
111 ゲアリーズ・ハウス	デボラ・オズワルド	須藤 鈴	演劇企画集団 楽天団	2008年2月20日～26日	中野・スタジオあくどれ	本公演	和田喜夫	若い恋人ともうすぐ生まれてくる子供のための新居に夢を託しているゲアリーは、父親が遺してくれた辺り土地に一人で家を建てている。しかし姉のクリスティンが現れて、姉弟二人に遺された土地の権利の半分を要求。皆の夢と希望を抱えた家が完成する日は来るのだろうか...?	男3人・女2人		http://australia.or.jp/culture_old/events/view/114/
112 ケーキマン	ロバート・J・メリット	須藤 鈴	演劇企画集団 楽天団	2011年1月20日～25日	中野・スタジオあくどれ	本公演	和田喜夫	多くのアボリジニ男性と同様に職がなく、酒を飲む日々を送るサイト・ウィリアムは家長として、男としての尊厳を見失っている。息子のパンクキッズは、イエス様からアボリジニの子供達にケーキを届ける使命を与えられる「ケーキマン」のお話が大好き。家族のもとに、ケーキマンはやってくるのか...?	男4人・女1人・子 (または女性)1人		http://stage.corich.jp/stage_detail.php?stage_main_id=19390
113 ゴールデン・エイジ	ルイス・ナウラ	佐和田敬司				未上演		タスマニアの森で、2人の若いハイカーが偶然忘れ去られたコミュニケーションを発見する。叙事詩的作品。	男10人・女6人	〈オーストラリア演劇叢書9〉 オセアニア出版社	
114 コシ	ルイス・ナウラ	佐和田敬司	舞台企画『迷宮』	2006年9月22日～24日	スペース107	本公演	鈴木次介	精神病患者達にセラピーとして芝居をさせるために古い劇場へやってきたルイスは、モーツァルトのオペラ『コシ・ファン・トゥッテ』を上演することになるが.....	男5人・女3人	〈オーストラリア演劇叢書9〉 オセアニア出版社	http://www.theaterguide.co.jp/search_result/paid/detail.php?id=4046
115 この雨ふりやむとき	アンドリュー・ボヴェル	広田 敦郎	tpt (シアタープロジェクト・東京)	2010年11月8日～28日	東京芸術劇場 小ホール2 (現シアターウェスト)	本公演	鈴木裕美	舞台はロンドン/アデレード/アリス・スプリングスの小さなアパート。吹きさらしの海岸クロロン、砂浜の一枚岩ウール。1959年から2039年まで展開する。家族4世代の親密かつ壮大なドラマ。過去の謎が解き明かされ、愛と裏切り、突然の別れがくり返されるなか、時空を超えて激しい雨が降り続く。いよいよ雨が砂浜を呑み込むとき、一人の若者が負の連鎖を断ち切るうと勇気を振り絞る。	男5人・女4人		http://stage.corich.jp/stage_detail.php?stage_id=22366
116 サイレント・パートナー	ダニエル・キーン	佐和田敬司	楽天団	2003年3月26日～31日	中野・スタジオあくどれ	本公演	和田喜夫	オーストラリアの典型的な下層階級中年男のどうしようもない生活を、笑いとおべんその中で描いた作品。	男2人	〈オーストラリア演劇叢書6〉 オセアニア出版社	

タイトル	劇作家	翻訳者	劇団名	公演期間	劇場名	公演形態	演出家	あらすじ	キャストサイズ	出版	リンク
117 サファイアーズ	トニー・ブリッグス	佐和田敬司	早稲田大学	2013年12月20日～21日	早稲田大学	リーディング	和田喜夫	ザ・サファイアーズは、オーストラリア先住民アボリジニの、4人姉妹カー・カル・グルー・メル・ボリンで彼女たちの才能を見いだしたスカウトマンのデビは、ベトナム戦争への慰問ツアーを持ちかける。劇場に赴いた彼女たちを待ち受けているのは、危険、わくわくするような恋と冒険、そしてつらい別れ……。実話にもとづく傑作ミュージカル。	男4人・女4人		http://rmusicapphires.tumblr.com/
118 ジャパニーズ・エンジェル	ロジャー・バルバース	ロジャー・バルバース				未上演		ラスベガスのジャズバンドで歌を歌っている日本人女性の物語。	5人	『海燕』（小学館）1996年3月号	
119 ジョーの百科事典	ロジャー・バルバース	ロジャー・バルバース	シアターX	2002年9月5日～6日	シアターX（両国）	本公演	ロジャー・バルバース	百科事典のセールスマンは、自殺しようとする女性を助けようとする。	2人		http://www2.gol.com/users/kokolove8/JOE%20PAGE.htm
120 ストールン	ジェーン・ハリソン	佐和田敬司	楽天団 楽天団&東京国際芸術祭 uフィールド	2001年11月 2002年11月11日・14日 ～17日 2006年11月17日～18日	中野・スタジオあくとれ オーストラリア大使館&中野・スタジオあくとれ スペース107	本公演 本公演 リーディング	和田喜夫 和田喜夫 井上弘久	1910年代からほぼ60年間続いた（白人同化政策）によって白人社会（学校、家庭）にむりやり連れていかれた子供達を描いた作品。異なる時代に「盗まれた」人の子供達が、同じ空間で子供時代に現在を演じているというユニークな構成。	男2人・女3人	〈オーストラリア演劇叢書5〉 オセアニア出版社	
121 スピーキング・イン・タングス〜異言	アンドリュー・ボヴェル	中山 功	シアター・J・inn	2001年6月27日～7月1日	下北沢「劇」小劇場	本公演	大間知晴子	二組の夫婦（レオン&ソーニヤ、ビート&ジェーン）の浮気（レオン&ジェーン、ビート&ソーニヤ）から物語は始まる。一組は一線を越え、もう一組は一手前まで踏みどまる。そこへもう一つのミステリアスな物語が絡んでくる。	男2人・女2人		
122 ダーウィンへの最後のタクシー	レグ・クリップ	佐和田敬司	楽天団	2006年2月16日～21日	中野・スタジオあくとれ	本公演	和田喜夫	アウトバックの都・ブローケンヒルで働くタクシー運転手マックスは、癌で余命いくばくもないと告知される。彼は死ぬ前に海が見たいと、自分のタクシーでオーストラリア大陸を縦断し、ダーウィンへと向かう。実はダーウィンのあるノーザンテリリーでは安楽死法が一時的に施行され、彼はその処置を受けるつもりだった。マックスは道すがら通り過ぎるいくつかの奥地の町のバブに立ち寄る。そこは倦怠と荒唐が街を支配し、そこで彼は不思議な人々と出会うのだった。やがてその旅の目的は新聞で報道され、彼の悪徳とは関係なくマックスは有名人となる。	男5人・女3人	〈オーストラリア演劇叢書11〉 オセアニア出版社	http://australia.or.jp/culture_old/events/view/63/
123 ダブル・アクト	バリー・クレイトン	鈴木小百合	兵庫現代芸術劇場	1999年2月7日～14日 1999年2月18日～28日	新神戸オリエンタル劇場 世田谷パブリックシアター	本公演	井上 思	5年前に離婚した男と女とあるレストランのバスルームの前でばったり出会います。現在、2人はそれぞれ若い相手とカップルになっていますが、久々に会ってみると昔も心も惹かれてしまいます。結婚していた10年間はいがみ合っていたばかりだったのに、愛人や夫を捨てて、二人は旅に出、またたけ生活を共にすることに、2人とも精神科医に通って心のうちを吐露しながら、今度はそうまくやっついていこうと決意するのですが、思惑通りにはいきません。	男1人・女1人		http://homepage1.nifty.com/mneko/play/HA/199902195.htm
124 チャットルーム	レグ・クリップ	伊勢谷能宣				未上演		現実社会になじめないカルメンは、チャットを通じてのみジェナと知り合い、交流を深めていく。ある日ジェナの訃報を新聞で知るが、その後、別の成人男性とチャット上で交流を始める。すでに離婚しているカルメンの父は、二人の関係を怪しめ、その男性の正体を暴こうとするが…。シルビアプラスの群に飾られた、スリリングな物語。	男3人・女3人		
125 どこにいるんだ ウィッツェンハウゼン	バリー・オークリ	佐和田敬司				未上演				〈オーストラリア演劇叢書2〉 オセアニア出版社	
126 ドリーマーズ	ジャック・デーヴィス	佐和田敬司	演劇企画集団 楽天団	2005年9月28日～10月2日	中野・スタジオあくとれ	本公演	ウエズリック・イノック 和田喜夫	時は1980年代、舞台はオーストラリア、バースの郊外。貧困、警察からの嫌がらせ、投獄など、都市での過酷で荒んだ暮らしを送る典型的なアボリジニの家族、ウォリッチ一家、家族の一員であるウォルロイさんが病のためになくなる毎日の間に、都会暮らしの中でも忘れずにいたアボリジニの生き様と言葉が夢のように立ち現れる。そしてその精神は、延であるドリーの中に引き継がれていく。	男7人・女2人	〈オーストラリア演劇叢書10〉 オセアニア出版社	http://australia.or.jp/culture_old/events/view/49/
127 ドリームタイム	ロジャー・バルバース	百々佑利子					(アマチュアプロダクション)	オーストラリアを訪れている日本の女性は、ある真実を発見する	15人	ラホ教育センター 1985年 (唐十郎との対談も収録)	
128 ナバジ・ナバジ	トレヴァー・ジェイミソン ナスコット・ランキン	佐和田敬司	国際演劇協会	2011年12月3日～4日	イワト劇場	リーディング	和田喜夫	1950年代、ジェイミソン家ではトレヴァーの父であるアーノルドが生まれていた。そして1953年から1956年にかけて、サウスオーストラリア州奥地の砂漠地帯で英国が核実験を行った。600回に及ぶテストで、9個の核爆弾が炸裂した。そしてそこは、ピジョンジャヤラの人々が白人との接触を殆ど待たずに伝統的生活を営んでいた場所でもあった……	男10人+女3人		
129 ノー・シュガー	ジャック・デーヴィス	佐和田敬司				未上演		時は1930年代。Millimurra一家が、アボリジニ保護政策に立ち向かう。	男12人・女8人	〈オーストラリア演劇叢書10〉 オセアニア出版社	
130 ノームとアーメッド	アレクサンダー・ブゾ	佐和田敬司				未上演		ある夏の夜。シドニーの人氣がない通りで、無知だが愛想の良さそうな中年オーストラリア人が、教養はあるが認知病なパキスタン人学生を呼び止める。	男2人	〈オーストラリア演劇叢書2〉 オセアニア出版社	
131 バイティン・バック	ヴィヴィアン・クリヴン	須藤 鈴	演劇企画集団 楽天団	2009年3月25日～30日	中野・スタジオあくとれ	本公演	和田喜夫	メイヴィスは、フットボールの花形選手である息子のネヴィルに夢を託している。アボリジニにとって、フットボールへの道は今の暮らしを抜出す唯一のチャンスであるからだ。しかしネヴィルはある日突然、女装をし始める…	男5人・女3人		http://australia.or.jp/culture_old/events/view/145/
132 ハサミ、紙、石 (じゃんけんぼん)	ダニエル・キーン	佐和田敬司	劇団俳優座	2013年2月16日～17日	劇団俳優座5階稽古場	本公演	菅田華絵	仕事を失って壊れていくケビン。彼は人よりも金を重んじる経済、グローバルセッションによって暮らしを壊された、世界に何百万という人間の一人ではない。妻、子供、親友、誰も彼を助けることはできず、夫だけが静かに安らぎを与えてくれる。	男2人・女2人	『海外戯曲アンソロジー：海外現代戯曲翻訳集「国際演劇交流セミナー記録」/日本演出者協会編』日本演出者協会十九人が書評新書2007年3月	http://australia.or.jp/culture_old/events/view/484
133 フェーリアス	マイケル・ガウ	佐和田敬司		2013年7月6日～13日	劇団俳優座5階稽古場	本公演	菅田華絵	喜劇作品で人氣の劇作家が、内側で膨らんでいく暗くて辛い作品に苦しめられていく。	男7人・女9人	〈オーストラリア演劇叢書6〉 オセアニア出版社	http://www.haiyuza.net/公演案内2014年/labofuerias/

タイトル	劇作家	翻訳者	劇団名	公演期間	劇場名	公演形態	演出家	あらすじ	キャストサイズ	出版	リンク	
134	ブラック・メディア	ウェズリー・イノック	佐和田敬司		2014年2月22日から24日 2014年3月1日 2014年8月14日～15日	小劇場An.studio 石巻市仮設開成団地内、開成ささえあ い拠点センター	本講演	岡井直道	古代ギリシャ文化と、アポリジニのストーリーテリングの融合。 アポリジニ版『女王メディア』。	男2人・女2人	『海外戯曲アンソロジー： 海外現代戯曲翻訳集 『国際演劇交流セミナー記録』 /日本演出者協会編』 日本演出者協会 十九れんが書房新社 2007年3月	http://www.theater-angelus.com/
135	フローティング・ワールド	ジョン・ロメルル	佐和田敬司	東京国際舞台芸術 フェスティバル +メルボルン国際芸術祭	1995年9月 1995年10月	東京芸術劇場 メルボルンCUBモルトハウス	本公演	佐藤信	甦える日本軍国主義の悪夢。アジアと西欧世界のはざまで引き裂かれるオーストラリア人のアイデンティティを描いた、現代オーストラリア劇文学を代表する傑作。	男5人・女2人	(オーストラリア演劇叢書1) オセアニア出版社	
136	ボーイ・フロム・オズ (ミュージカル)	ニック・エンライト	丹野郁弓	フジテレビ	2005年6月10日～27日 2006年10月28日～11月6日 2006年11月23日～26日 2008年10月5日～14日 2008年10月23日～26日	青山劇場 青山劇場 大阪厚生年金会館 芸術ホール 青山劇場 シアターBRAVA!	本公演	フィリップ・マッキンリー	オーストラリアの田舎町を飛び出したピーターは、1964年に香港のラウンジショーでジュディ・ガーランドの目にとまり、ショーの前座に大抜擢される。その後ジュディの娘、ライザ・ミネリと恋に落ちるピーター。そして栄光と転落。ショービジネス界を駆け抜けたピーター・アレンの衝撃の人生が、彼の名作の数々に乗せて感動的に描かれた作品。	(男7～8人・女3人?)		http://australia.or.jp/culture_old/ja/events/view/26/%e3%83%9c%e3%83%bc%e3%82%a4%e3%83%95%e3%83%ad%e3%83%a0%e3%82%aa%e3%82%ba
137	ホテル・ソレント	ハニー・レイソン	声沢みどり				未上演		オーストラリア南東部の海辺の小さな町ソレント。そこで育った三姉妹が十年ぶりに故郷で再会する。次女が書いた自伝的小説がブッカー賞の候補になり、その内容について一家に波紋が広がる。単なる家庭劇を超えて芸術の解釈とは何かを問う意欲作。	男4人・女4人		
138	マイロの通夜	マージェリー& マイケル・フォード	須藤 節	演劇企画集団 楽天団 東京演劇集団 風	2005年3月29日・30日 2006年5月9日～14日	中野・スタジオあくとれ レパートリーシアター-KAZE	リーディング 本公演	和田喜夫	オーストラリア、ブリスベンにあるアイリッシュ・パブ。アイルランドからオーストラリアに移住してきたマイロ・オコナーは、妻のモーラ、長男のネドと共に小さな外資会社を営んでいる。しかし次男を亡くして以来、信仰心、そして自分の存在価値まで見失いかけている。そんなマイロは、周囲の人からの優しい言葉を聞くために自分の通夜をする...	男2人・女2人 (アイリッシュバンド男2人)		http://yoe.australia.or.jp/events/15/
139	マッカーサー	ロジャー・バルバース	高橋康也				未上演		豪州時代のマッカーサー元帥についての人形劇ミュージカル。	6人	「新劇」(白水社) 1977年12月号	
140	ミス・タナカ	ジョン・ロメルル	佐和田敬司	オーストラリア学会 結城座	2011年6月11日 2012年9月26日～30日	早稲田大学演劇博物館 東京芸術劇場シアターウエスト	リーディング 本公演	和田喜夫 天野天街	この地球で美しく輝く海の宝石「真珠」を軸に、オーストラリアのアポリジニと日本人の血を引く若者、和彦をめぐる潜水夫らのドラマ。	男5人・女2人	(オーストラリア演劇叢書12) オセアニア出版社	http://australia.or.jp/culture_old/ja/events/view/448/%e3%83%9f%e3%82%b9+%e3%82%b6%e3%83%8a%e3%82%ab
141	ライフ・アフター・ジョージ	ハニー・レイソン	?				未上演		カリスマ学者で理想主義者のピーター・ジョージが飛行機事故で死ぬ。妻と2人の元妻、娘の4人が葬儀で顔を合わせる。ジョージの人生が回顧される中、三人のわたちの生き方と20世紀末の30年間の時代が浮かび上がってくる。	男2人・女4人		
142	ラブ・チャイルド	ジョアンナ・マレー・スミス	佐和田敬司	千賀ゆう子企画	2006年9月14日～16日	ストライプハウスギャラリー	リーディング	加藤翠	ある日アナを訪ねてくる女優のピーターは、17歳のアナが経験した一夜の恋で生まれた「ラブチャイルド」であった.....	女2人	(オーストラリア演劇叢書8) オセアニア出版社	http://yoe.australia.or.jp/events/15/
143	ラブチュア・うちょうでんな人々	ジョアンナ・マレー・スミス	山本健翔	演劇集団円	2007年3月16日～28日	ステージ円	本公演	山本健翔	毎年、休暇を共に過ごしてきた三組の夫婦。彼らは40台半ばに近づく人生の成功を手に入れている。豊かきゆえに、人生こんなものさよ、どこかでお金をくくっていた彼ら。そこに火事で全てを失った一組が投げかけるそんな生き方への疑問。もはや斜に構えてはいられなくなった時、向き出にされていくそれぞれの人生、豊かさに隠れて、実は問題だらけの、友情、家庭、性、子供・・・。彼らは、何に向かい、どう生きるべきか、考えざるをえなくなる。	男3人・女3人		http://australia.or.jp/culture_old/ja/events/view/817/%e6%bc%94%e5%8a%87%e9%9b%86%e3%a3%e5%86%86+%e3%83%a9%e3%83%97%e3%83%81%e3%83%a5%e3%82%a2+
144	リターン	レグ・クリップ	佐和田敬司	流山児★事務所	2007年3月20日～31日	スペース早稲田	本公演	流山児祥	フリーマントル行き最終電車が出発した。劇はその車両の中で進行する。登場人物は5人。傷害事件で服役を終えた男、刑務所で知り合った友人、女子学生、主婦、作家。偶然(！?)乗り合わせた5人の間で繰り広げられる、ノンストップでスリリングな衝撃の会話劇。	男3人・女2人	(オーストラリア演劇叢書11) オセアニア出版社	http://culture.australia.or.jp/ja/events/view/827/%E6%85%81%E5%B1%B1%E5%85%90+%E4%BA%BB%E5%8B%99%E6%89%B0+%E3%82%AA%E3%82%BF%E3%83%8C%E3%83%B3+
145	リデンプション ～ つぐない	ジョアンナ・マレー・スミス	家田 淳	J-Theater	2010年7月1日	赤坂プリンスホテル	リーディング	小林拓生	死んだジェイコブの部屋で久しぶりに再会するサムとイーディー。緊張感の張り詰める中、お互いを探り合うぶつ切れの会話から二人の関係とこれまでの経緯が徐々に明らかになる。自分も他人も欺いて生きてきた二人が過去の選択を問い直し、やり直すことは可能なのか?	男1人・女1人	『海外戯曲アンソロジー： 海外現代戯曲翻訳集 『国際演劇交流セミナー記録』 /日本演出者協会編』 日本演出者協会 十九れんが書房新社 2007年3月	
146	ルビー・ムーン	マット・キャメロン	佐和田敬司	J-STAGE	2006年9月15日～18日、 10月13日	神奈川県立青少年センター・多目的プラザ 大阪府門真市民文化会館 ルミエールホール・小ホール	本公演	内田潤一郎	ムーン家の幼い少女ルビーが行方不明になり、両親は嘆き悲しむ。さらにバラバラになった少女の人影が一部ずつ入った包みが、家の前にたびたび置かれるようになる.....	男4人・女4人		http://yoe.australia.or.jp/events/15/
147	レイディアンス	ルイス・ナウラ	佐和田敬司		2010年	麻布die pratz	未上演		舞台はオーストラリア、クイーンズランド州北部。長女のメイは年老いた母親の世話をするために実家に戻ってきている。次女クレシーはオペラ歌手として成功して都会暮らし。三女ノナは定職につかず、根無し草のような生活。母親の死の知らせを受けて、クレシーとノナが家に戻ってくるところから物語は始まる。三姉妹の会話から、子供時代、母親のこと、アポリジニであること、それぞれの夢と現実などが次第に浮かび上がってくるが、やがて家族の深い秘密までもが明らかになる。	女3人	(オーストラリア演劇叢書7) オセアニア出版社	

タイトル	劇作家	翻訳者	劇団名	公演期間	劇場名	公演形態	演出家	あらすじ	キャストサイズ	出版	リンク	
J48	レインボーズ・エンド	ジェーン・ハリソン	須藤 鈴	演劇企画集団 楽天団	2007年3月21日～26日	中野・スタジオあくとれ	本公演	和田喜夫	時は1950年代、保守的なお婆あちゃん、楽天的で賢い娘のグラディス、高校生孫娘ドリーが川岸の借り立て小屋に住んでいる。町のゴミ捨て場から調達してきた家財道具で生活し、頻りに起こる洪水の被害を避けられない状況にある。ある日白人の青年エールが現れ、グラディスに百科事典、ドリーにロマンスを運んでくる。	男1～2人・女3人		http://australia.or.jp/culture_old/events/view/83/
J49	悪戯な姉妹たち	アルマ・デ・グローン	渾大防一枝	アテナの会	2006年9月25～26日	スペース107	リーディング	渾大防一枝	大学を卒業して30年、かつての同級生が久々に集った。キャリアウーマン、専業主婦、フェミニスト運動家、恋愛に夢中だったり、それぞれの人生活が、一人の男の軌跡と微妙に交錯する。天才的なIT科学者で最近亡くなった男だ。笑いにくるまれた暴露、嘘、嫉妬、意地悪の中から浮き上ってくる真実とは。	女4人		
J50	河原町物語	ロジャー・バルバース	ロジャー・バルバース	シアターX	2006年11月15日～18日 11月下旬オーストラリア・ツアー	シアターX (両国)	本公演	ロジャー・バルバース	若い女性は、京都のバーに入ってくる。戦争体験は再現する	3人	「せりふの時代」(小学館) 2006年秋号	http://www17.ocn.ne.jp/~huesugi/kawaramachi.htm
J51	花嫁付き添い人の秘密	エリザベス・コールマン	三輪えり花	劇団昂 宝塚クリーティブーツ	2003年4月11日～25日 2006年8月2日～8日 2006年8月19日	三百人劇場 銀座・博品館劇場 シアター・ドラマシティ (大阪)	本公演	三輪えり花	結婚式を明日に控えたメグの花嫁付添人達は彼女の婚約者が浮気していたのを発見！打ち明けるのが友達か、言わないのが友達か。知ってしまったメグの選択は？嘘と愛の狭間を描く抱腹絶倒のおしゃれなコメディ。	男1人・女5人		http://www.theaterguide.co.jp/search_result/paid/detail.php?id=003435
J52	皆々さまへ	ダニエル・キーン	佐和田敬司	社の都の演劇祭2008	2009年1月21日～30日	カフェプロコブ	リーディング	高橋菜穂子	たまたま入ったカフェや公園、学校……、日常の中で、自分のすぐとなりに溢れている人間の「かなしみ」を描いた作品。	男2人	『海外戯曲アンソロジー：海外現代戯曲翻訳集「国際演劇交流セミナー記録」/日本演出者協会編』日本演出者協会+れんが書房新社 2007年3月	
J53	記者たち	ロジャー・バルバース	ロジャー・バルバース	シアターX	2006年11月15日～18日 11月下旬オーストラリア・ツアー	シアターX (両国)	本公演	ロジャー・バルバース	中南米の国で中国記者は、アメリカ人記者に出くわす。二人は、コンピュータを交換する。	2人	「せりふの時代」(小学館) 2006年秋号	http://www17.ocn.ne.jp/~huesugi/kawaramachi.htm
J54	曲がり角の向こうには	ジョアンナ・マレー・スミス	平川大作	ひょうご舞台芸術	2004年5月6日～14日 2004年5月22日～30日	紀伊国屋ホール 新神戸オリエンタル劇場	本公演	輪山仁	あるカップルの家の火事を機に、少しずつ明らかになっていく二人のそれぞれの人生観。現代オーストラリアにおける多様な価値観をユーモラスに描いたスタイリッシュ・プレイ。	男3人・女3人		http://www.rup.co.jp/backnumber/0403magari.html
J55	山下	ロジャー・バルバース	毛利三彌				未上演	1959年ハワイ。大学の教室は突然、戦争犯罪の法廷になる。	3人	「新劇」(白水社) 1976年8月号		
J56	心中ラブ・スーサイズ	ジョン・ロメリル	佐和田敬司				未上演	1人は大阪出身、もう1人はバース出身の恋人達の運命は……?	男3人・女2人	〈オーストラリア演劇叢書12〉オセアニア出版社		
J57	真珠を拾うもの	キャサリン・トムソン	佐和田敬司	日本劇作家大会	1999年1月14日	札幌かでのホール	リーディング	平田オリザ	鉄鋼工場が閉鎖され、リゾート地になっていく町。市民2人が新しい環境に慣れようとする姿が描かれている。	男2人・女3人	〈オーストラリア演劇叢書3〉オセアニア出版社	
J58	嘆きの七段階	ウェズリー・イノック +デボラ・メイルマン	佐和田敬司	楽天団 楽天団&東京国際芸術祭	2001年11月 2002年11月17日～19日	中野・スタジオあくとれ 中野・スタジオあくとれ	本公演	和田喜夫	先住民の歴史を7つの段階に分け、現代の若い女性が語り演じる一人芝居。神話的時代から侵略の時代を経て、現在に至る七段階が多くの取材を元に描かれている。	女1	〈オーストラリア演劇叢書5〉オセアニア出版社	
J59	溺れる花嫁	マイケル・フッチャー &ヘレン・ハワード	名和由理	株式会社ドラマクリオ	2006年9月23日～24日	紀尾井小ホール	リーディング	輪山仁	第二次大戦中、ナチス支配下のラトビアで起きた実話に基づく物語。ナチス将校プラントのもとで工作員をしていたヴァルディスと、献身的な妻サミーラ。プラントに利用され、極限状態にまで追い詰められた若い夫婦が、互いに相手の命を守ろうとして最後を選んで自己犠牲の道は、結局二人を破壊させ、一族の歴史をも変えてしまった……。	男2人・女2人		
J60	北への旅	デビッド・ウィリアムソン	鈴木小百合				未上演	70代の男と50代の女が新しい生活を求めて暖かい北の地へ移り住む。(注：オーストラリアでは北が暖かい) そこでおせっかいな隣人や皮肉な医師等と交流を深めていくが、街に住むお互いの娘たちは2人の迷いを快く思っておらず、何かと干渉してくる。そのうち、男は病に倒れ、自分の人生を振り返ることになる。	男4人・女4人			
J61	夜、壁、二人の男	ダニエル・キーン	竹内あゆみ	演劇企画集団 楽天団	2006年8月29日～9月3日	中野・スタジオあくとれ	リーディング	西沢 栄治	ホームレスの男性2人と彼らの様々な出会い。17の短いシーンの中に彼らの関係と彼らと一般社会との関係が描かれている。各シーンに彼らの人生が描かれ、彼らの辛く寂しい人生を垣間見る。この作品は世の中から見捨てられ、苦境に誰も目を向けない社会の外れに生きている二人の人物の肖像画である。二人の関係はもろいもので、時に憎しみに近いが、彼らが待てる唯一の安らぎで、多分、辛く厳しい人生を生き抜く力を与えてくれるもの全てである。	男2人		
J62	隔ざかりの女たち	ハニー・レイソン	小田島恒志	ひょうご舞台芸術	1998年9月2日～15日 1998年9月19日～30日	新国立劇場小劇場 新神戸オリエンタル劇場	本公演	輪山仁	医療、メディア、ビジネスというそれぞれの業界でプロフェッショナルとして働く3人の女性は親友同士。機知に富み、博識な女性達は、仕事・子供・恋愛を上手く両立させているが、40歳になった彼女達の友情に、試練の時が訪れる……。	男2人・女5人		http://www.gcenter-hyogo.or.jp/cen_soft_senko01.html